

ひまわり

Vol. 121

編集 中村建設(株)

四日市市小宮前1-17

隔月発行

ツバメが巣を作ると
縁起がいい？

渡り鳥でもめるツバメは

色々な環境と察知する。

居心地の良い環境を選んで

巣を作る。温度湿度的に考

えてもいい家と云えるのでは？

占いのにも鬼門に作らない

環境的に風通しが良く

湿度が少しい場所と好む

又昔から水田の稲の害虫と

食べてくれる益鳥としてとても

大事にされてきました。

今年からは四月から

世間の姿が見受け

られまじたね！



つばめ
燕

おえ気で

いらっしやい

ますか？

つばめになつて

とんでとんであそぼ

五月のお空ととんで

とんであそぼ

はい

すいすい

すいすい

つばめになつてとんで

とんであそぼゆっやけお空を

とんでとんであそぼはいすいすい

すいすい

作詞
塚本幸子



社長のひとり言

①

(水の星、地球に住む人の暮らし)

皆様がよくご存知のように、地球は表面積全体の3/4が海です。

だからと云う訳ではありませんが、地球の大気中にも沢山の水分が含まれている事をあまり一般の人は気にしていません。当地四日市も年平均して湿度が70%と云われています。又、人間と含む動植物も体の70%位水分で出来ています。

この様に見て来ると私達は水分が多いと云って行けないことが分かります。その事と云えて現代社会を見る時、日本の住まいづくりの戦後しばらくすると昔から行ってきた湿式から乾式に変化して来ています。

最近では地震のことを心配するあまり

屋根瓦が無くなり鉄板やその他の軽い

もので屋根と葺いたり、外壁も板貼が

次々と消し鉄板やサイディングと云った

水を寄せつけない物で囲うようになって

います。又、内装の仕上を見てはボードの

上にクロスと云った乾式のものや天井、壁

に、床に至っては水分を通さないもので造り

上げてゐるのが一般住宅の主流になって

来ています。果して水の星でありながら

それと拒絶する様な事を取り入れて

住まいづくりとすることが良いのでしょうか。

私はそのような住まいづくりで良いのだろうか。

(?)との疑問と持っています。と云うのも

人間には潤いが必要だと思っているからです

その一つとして、お肌は潤いが必要

だからと化粧水などを塗って

ます。このように人は自然と

潤いが生活には必要である

ことを知っているのです。

潤いは人の肌ばかりでなく、

人の心にも必要だと思っています。

今のストレス時代、住宅は和風

のある住まいでなければいけない

室内だけでも潤いのある材

料(土・草・木)をふんだんに

使うことをおすすめします。

又、地球環境を真剣に思う

人は炭素の固定化のために

木で住まいづくりとされること

です。(H30.3.15記)

社長のひとり言 ②

(良い生活習慣を身につけよう)

人間は動物の一種です。動物には夜行性のものと、人間のようには昼行性の動物とに分けられます。だから動物は24時間働くように出来ていません。夜勤くものには夜の仕組みが、人間のようには昼勤くものは昼勤くように身体のリズムがなまされていきます。体温のリズムやホルモンのリズムは、その仕組みによってプログラムされていますのでその仕組みに合った生活をしないと心や身体をより良く発達させることが出来ません。昔の日本人はその事を良く知っていて、次のような

誇を残しています。

「早起きは三文の得」この誇の老味合をなつと辞書で知らべて見て下さい。

①人間の身体は朝起きて夜に寝るよう

出来ている。サイクルが乱れると身体は痛み、心まで病みます。②脳は朝一番

エネルギーに働く。脳は起きてから時間が立つほど、記憶や疲労でいっぱいになり、新しい事が入りにくくなる

③寝ている時に記憶は整理される ④早起きは、ヒラメキが起る。斬新で新しいアイデアが浮かぶと書かれています。

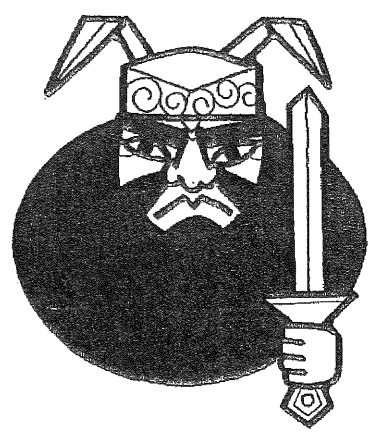
私は最近、午前3時30分に目覚め、本を読んだり、思い浮かんだ事と書き留めたりしています。実感として以上の事を感じます。

早起きすると静かな所で

考え事の本来。又時間的余裕も生まれ、一日の行動がスムーズに行えます。

世の中、昼行性の生活が出来ない仕事があります。せめて子供達はこのような生活習慣を身につけさせてやりなさい。

身体が健康になり、もっと良い事が、勇気をもって実行してみませんか？



ご縁があったときが 幸せ家庭づくりのチャンスです

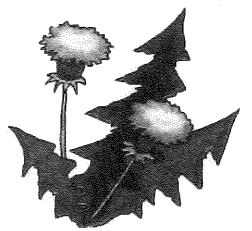
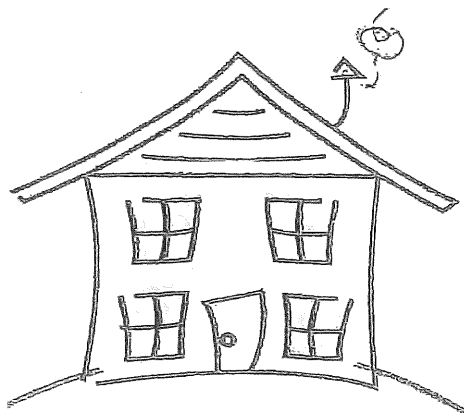
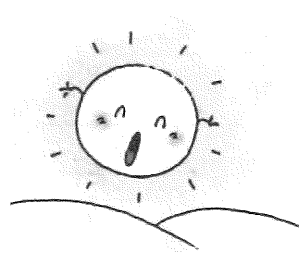
家族と住まいと環境の勉強会 ホーミー四日市教室 開催してます

医者いらぬ よい住まい

湿気追い出す 夏の風

冷えから救う 冬の陽を

上手な利用で 幸を生む



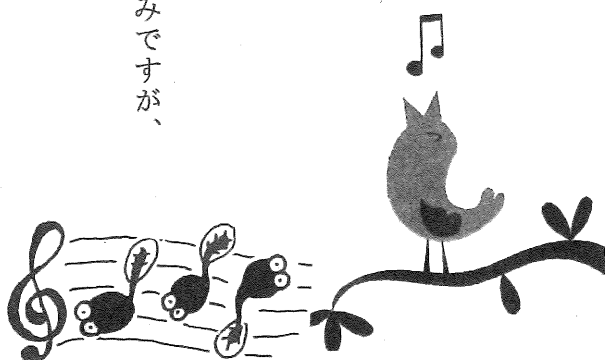
「日の入る家は医者いらぬ」
昔の人たちは太陽光線を
効果的に利用してきました。

太陽光線の利用の仕方によって、
家族の健康は左右されます。

間取り計画や、窓の大きさ、つけ方は、
各部屋の利用目的と、太陽光線との関係を
十分に考えなくてはなりません。

紫外線・赤外線・可視光線は、まさに自然の恵みですが、
メリット・デメリットをもちます。

特性を理解し、上手に利用することが大切です。



幸せをもたらす住まいづくりの勉強会

(三重)ホーミー四日市教室

TEL:059(345)7726

NPO法人幸せな家庭環境をつくる会三重支部

〒510-0958 三重県四日市市小古曾1-1-7

